

規 矩 の 野

～一人一人 一つ一つ を大切に～



北九州市立企救中学校
学校だより
校長 立花 昭一

平成 29 年 11 月 20 日発行

人権コンサート（富永裕輔さん）より



10月21日（土）に富永裕輔さんによる人権コンサートが体育館で行われました。試合などで残念ながら参加できなかった人もいましたが、「明日への翼」をみんなで合唱したり、夢をもつことの大切さなどについて話していただいたり、「ひまわりの花」などを熱唱していただくなど、とても有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。

【コンサート後の感想より】

1年生

- 富永裕輔さんの歌に勇気をもらいました。また月曜日からがんばろうと思えました。歌は勇気を与えてくれる。間違いではないみたいです。（女子）
- 夢をもつことはとても大切であることを学びました。富永さんの歌の歌詞は、とても心に残り、これからに向けてやる気が出ました。夢をしっかり決めて、その夢に向けて努力したいです。（男子）
- 明日への翼を富永さんが歌っているのを聴けて、なんだかものすごく得をした気分になりました。来年も来てほしいなと思えました。（女子）
- 伴奏しながら自分の今までのことを振り返るなど、すごい人だなと思えました。和田投手の登場曲を歌ってくれたおかげか、ソフトバンクが勝ったのでうれしかったです。（男子）

2年生

- 学校全体で一つになれたので、とても楽しかったです。歌手の方のコンサートは初めてでしたが本当に楽しくて感動しました。富永さんが北九州出身でうれしいです。これからも応援しています。（女子）
- 質問に対して歌で返すのは、すごいなと思えました。また、みんながボールを投げてキャッチするのは、とても楽しかったです。今日のコンサートは、とても楽しかったし、心から感動しました。（女子）
- 自分の将来の目標について、行き先の書いてあるバスか書いていないバスかという話を聞いて、明確に決めようと思えました。ありがとうございました。また来てください。（男子）
- 富永さんの歌は、今の私たちに応援のエールを送ってくれるような歌で、今のありかたを考えさせられました。歌と歌の合間に、「勉強は目標ができると楽しくなる」と言われ、私は目標を探しながら日々を過ごしていきたいと思えました。（女子）

3年生

- 富永さんの歌を聴いて、とても勇気がわいてきました。自分のやる事や発言、将来のことなど、自信がなくて悩んでいました。でも、もし間違えても、その失敗は明日へつなぐと思えました。（女子）
- これからどんなことがあっても、行き先のないバスではなく、行き先のある夢に乗ってがんばっていきましょうと思えました。また、歌声がとてもきれいで鳥肌が立つほどすばらしかったです。（男子）
- 「明日への翼」を音楽の時間に歌い、富永さんのことを知りました。アカペラで歌っている時、体育館中に声が響きわたって、とてもすごい声量だなと思えました。（女子）
- 僕は将来の夢が決まっているけれど、富永さんの歌を聞いて、絶対にその夢を叶えようという気持ちになることができました。富永さんが言っていた勉強法も試してみようと思えます。（男子）

合唱コンクールより



結果発表のときに優勝クラスとして呼ばれて、本当にうれしかった。でも、当日まで本当に大変だった。体育大会が終わり、クラスの雰囲気はとてもよかったです。練習はスムーズに進むと思っていたけれど、そんなにうまくは進まなかった。この日の状態になるまで大変だったけれど、クラスの絆を深めることができた。合唱コンクールで得られたものを大切にして、受験勉強に励み、みんなで助け合っていけたらいいと思う。（女子）

授業サポーターの先生が来られています。

10月から大坪先生（社会）が、11月から松本先生（英語）と森田先生（理科）が、週に1～3日、授業サポーターとして、社会、英語、理科を中心に、授業時間や給食の時間、学活の時間などにクラスに入ってください。みなさんと年齢も近いので、気軽に話しかけてみてください。



大坪先生
（福教大大学院生）



松本先生
（北九大4年生）



森田先生
（福教大4年生）